

令和7年度 十日町市立中里中学校グランドデザイン



教育目標「豊かな知性と、健全な心身をもつ生徒」

今までより
もっと！
(向上心)

重点目標

- 【知】自ら学び、よく考える
- 【徳】思いやりの心を持ち、助け合う
- 【体】健康な体でやり通す

小中一貫教育で目指す子どもの姿
中里が好き！みんなが好き！自分が好き！
目指す学校『中里愛』のある学校

6つのターム（教育期）ごとに目標と重点を明確にした取組を行う。

1期（4～5月）
人間関係づくり

2期（5～6月）
諸活動での
心身向上

3期（7～9月）
集団の質の向上

4期（9～10月）
中里中のよさを
地域へ発信

5期（10～12月）
成果の質の向上
（学習・生徒会）

6期（1～3月）
充実と達成、
そしてフィナーレ

生徒に身に付けさせたい3つの資質・能力



<居心地のよい学級づくり>（全員参加の学級集団「やれる！」「できそうだ！」）

目指す生徒の姿

学力向上

目標や課題に主体的にチャレンジする生徒

人間関係づくり

目標達成や課題解決のため、他者と連携・協力できる生徒

問題解決力

目標や課題に粘り強く取り組み、やり遂げる生徒

取組の目標（80%以上の達成）

- ① 自ら進んで授業に取り組んだか。（分かる、できるようになった実感）
- ② 計画的に家庭学習に取り組んだか。（1年：70分 2年：80分 3年：90分）
- ③ 基本的な学習内容が定着したか。（web 配信問題、NRT、単元テスト等）

- ① 仲間や集団のために努力したり協力したりしたか。
- ② 互いに高め合ったり励まし合ったりしたか。
- ③ 悩みや困りごとに対して自他の思いを伝えたり理解したりできたか。

- ① 生徒会活動や部活動等に目標をもって粘り強く取り組めたか。
- ② 自分たちで校内の気風を改善することができたか。
- ③ トラブルや問題に対して自分たちの力で解決することができたか。

具体的な方策

- ① 「分かる」授業づくり
 - ・見やすい板書、明確な課題提示、振り返りによる学習内容の確認。
 - ・学び合い・課題解決場面を取り入れた学習活動。ICTの有効活用。
- ② 「学びを支える意識」の育成
 - ・学習計画や提出期限厳守による自己管理能力の育成。
- ③ 「基礎学力」の確実な定着
 - ・確実に身に付けさせたい基礎的な学習内容の反復と定着の確認。
 - ・単元テストによる確実な成果。

- ① 各ターム(教育期)での見通しと振り返り
 - ・各取組の自己の見通しと振り返り、仲間の存在の実感。
- ② 集団としての成長
 - ・集団としての高まりや個々の成長を認め合う場の設定。
- ③ 自己決定、自己内省の促し
 - ・生徒の悩みや困りごとに対して寄り添った声かけ。「対話」を通じた自己決定または自己内省の支援。

- ① 生徒による企画・運営の推奨
 - ・生徒の主体性を大切に、生徒の考えが反映されるような活動の充実。そのための支援。
- ② 困難に立ち向かう場の設定
 - ・自らの存在意味を分からせ、自信をもって活動できるような支援。
- ③ 「考え、議論する」道徳
 - ・問題を自分事として捉えさせ、多様な価値観を押さえる授業。
 - ・自らの生き方に、学びを活かすような、活動の質の向上。

特別支援教育の充実「個々の多様なニーズに合わせた支援」

- ・WEBQUを活用して、実態を把握した上で適切に支援し、一人一人を着実に伸ばす。
- ・UDの視点に立って授業づくりや活動の展開を考え、進める。

保護者・地域・関係機関との連携

小中一貫教育の推進	コミュニティスクールの推進	地域保護者との連携	関係機関との連携	地域の宝の活用
・9年間の行動指針の明示 ・眠育/メディアコントロールによる生活改善の推進	【学校運営協議会】による学校参画の促進 【学校支援地域コーディネーター】の連絡調整による学校支援体制の構築	・PTA、後援会、各振興会、青少年育成会、等による支援体制の充実	・SC、市教育委員会等と連携した支援体制（相談会、ケース会議等）	・『中里愛』学を核に地域の「ヒト・コト・モノ」を活かした教育活動の推進

